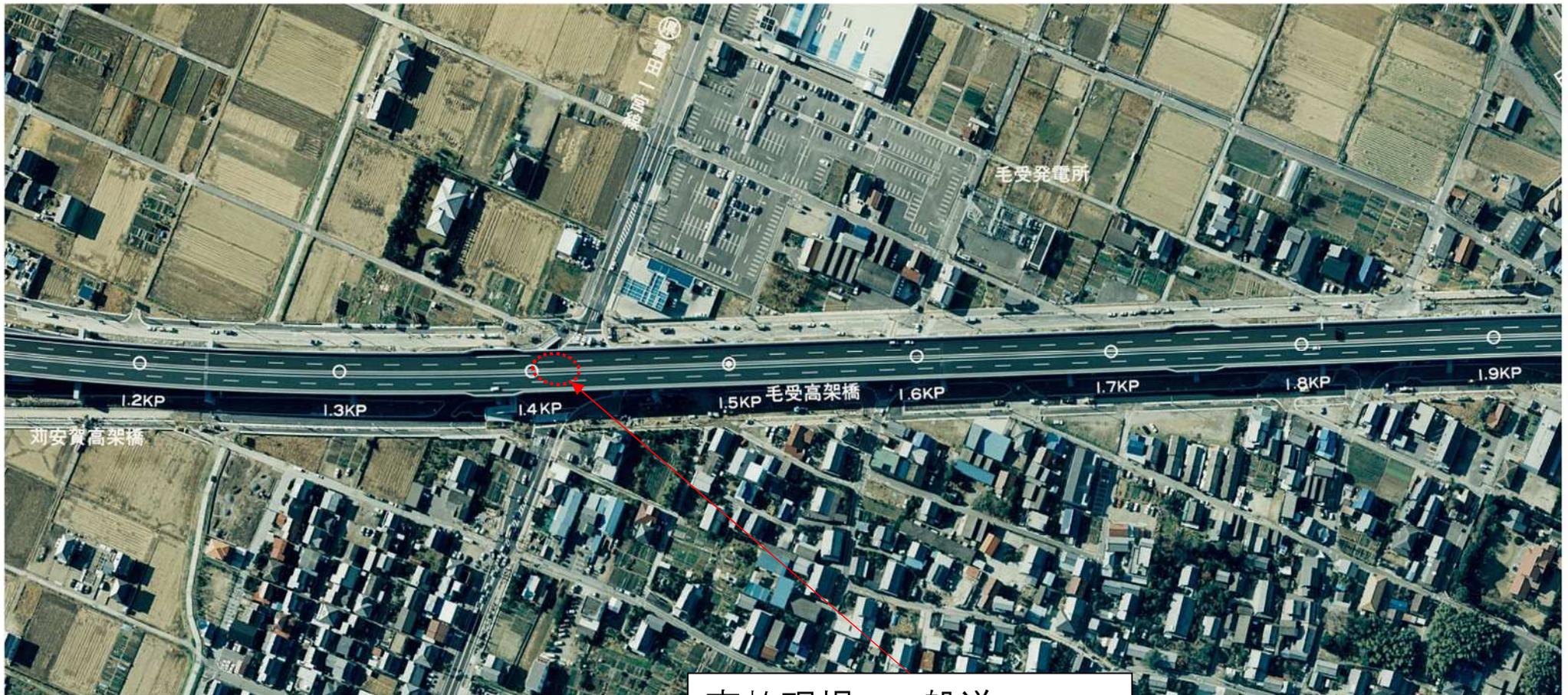


# 一般道で一般車と接触する事故



- ・ 事故発生日時 : 2021年1月29日 (金) 13時30分頃
- ・ 維持修繕名 : 2020年度 名神高速道路 ■■■管内維持修繕業務 (保全巡回)
- ・ 事故発生場所 : 県道14号 岐阜稲沢線
- ・ 事故概要 : 一宮西ICを出て信号でUターンをするために、片側3車線ある道路を一番右の車線へ車線変更する際に、一般車へ接触したものの。
- ・ 被害状況 : 人的被害 なし  
物的損害 相手方：車体右後方に擦り傷、当方：車体左後方に擦り傷  
双方とも自走可。
- ・ 時系列
  - 13：30頃 事故発生 警察に連絡
  - 13：40 メンテ現場代理人へ報告 警察到着
  - 13：47 現場代理人よりNexco保全計画へ第一報
  - 14：00 警察見分終了
  - 14：05 現場離脱

# 一般道で一般車と接触する事故



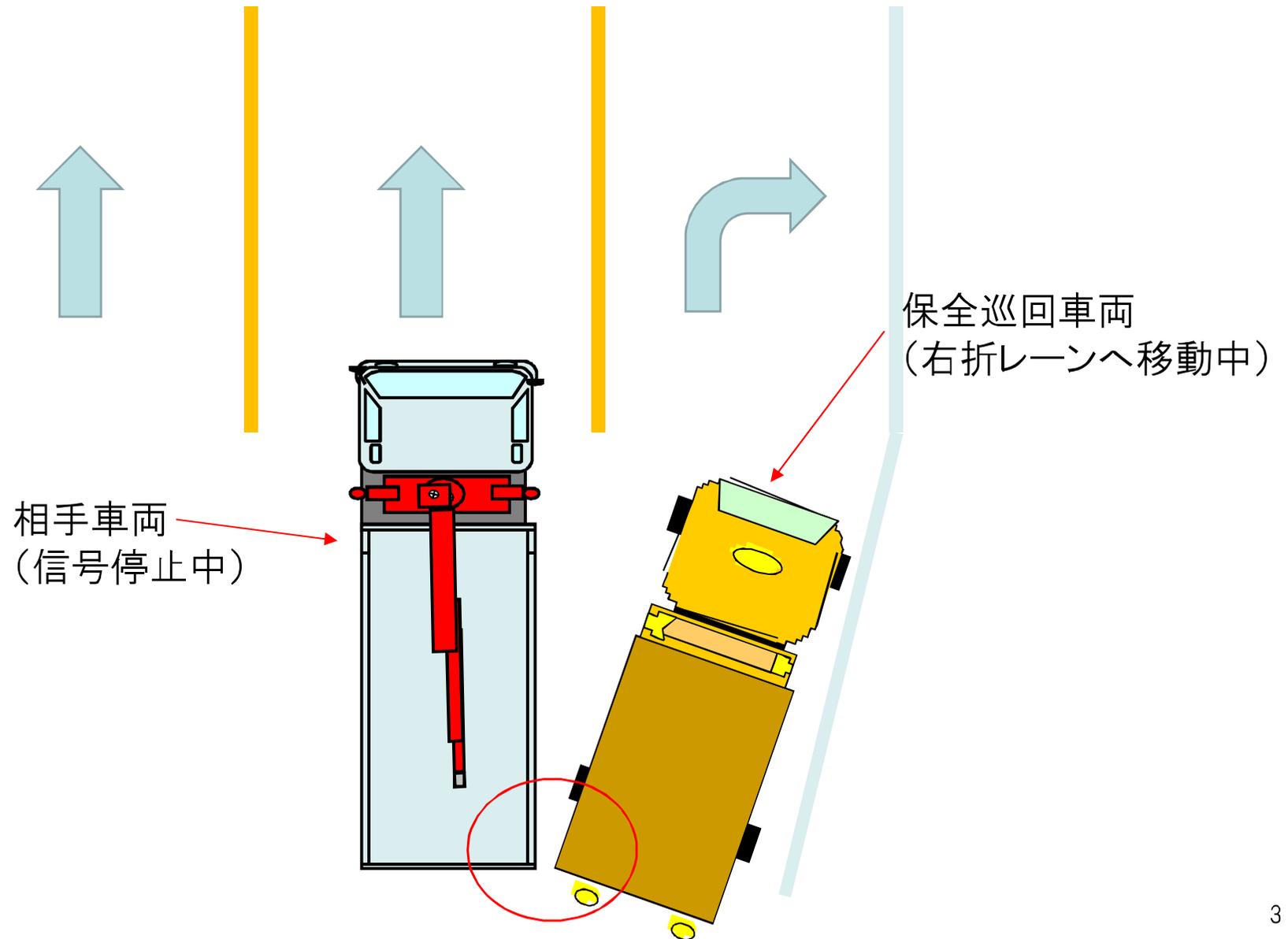
事故現場 一般道  
・西尾張中央道 北向き  
(毛受交差点)

# 一般道で一般車と接触する事故

## 現場状況



# 一般道で一般車と接触する事故



# 一般道で一般車と接触する事故



接触箇所

## 交通事故の原因と対策（改善策）

行為・事実	真 因	対 策(改善策)
従来と同じ反転ルートであったため、3車線を横断して容易に右折レーンに進入することができると思った。	従前より安全な運行ルートが定められていなかった。(管理的要因 規定不備)	・安全な運行が可能な反転ルートの変更及び周知(別紙参照)を行う。
キャビンより荷台が広いことから左後方が後続車に接触する可能性があったが、通過できるだろうとの安易な考えで、右にハンドルを切って右折車線に進入してしまった。	普段から乗り慣れない車両で、運転が不慣れであった。(安全意識欠如 不慣れ)	・乗り慣れない車両を運転する時は、車両運行前に運行経路を確認すると共に、一般道での反転に移動距離があるまたは、複雑な経路の場合は、ICの外ブラ(Uターン路)等で容易に反転が可能な場所まで移動する。 更に、助手には運転熟練者を配置する。
右折車線に入る際に直進レーンにトラックが停車しているのは確認したが、運転手が通過できると思い通過しようとしてしまった。	助手の役割分担が不明瞭であり、運転手のサポートができていなかったため、不安定状態が放置されてしまった。(人的要因 不安定状態放置)	・合流時だけでなく、狭小部や車両のすり抜け等に関しても、必ず助手による自車両の左側の安全確認を行ってから移動する。 ・上記について、運転手と助手ともに安全確認をした上でどちらかでも安全が確保できないと判断した場合は、減速し周囲の安全を確認したうえで必ず一旦停車する。

# 一般道で一般車と接触する事故

## 別添資料(反転路の変更図)

一宮西IC 下道反転路利用について

ルート1 一宮西ICを降りた後しばらく北上し①の交差点を直進、②の交差点で右折、高速道路をくぐる直前の交差点を左折、①の交差点に出るので左折、一宮西ICというルート。

